

北海道における気運醸成の取組について

1. こどもファスト・トラック

【概要】

- こども・子育てにやさしい社会づくりのため、妊娠中の方やこども連れの方に配慮を行う取組

【実施状況等】

- 全ての道立施設において、施設状況に応じて次の取組を実施（各出先機関、道立高校、警察署等を含む658施設で実施）。
 - ・妊娠中の方やこども連れの方へ率先して声かけを行い、手荷物やベビーカーの運搬などを補助
 - ・授乳室やおむつ替えの場所の設置
 - ・駐車場に子育て世帯等のための優先スペースを設置
 - ・窓口等での優先案内
- 道内自治体、企業等に取組を呼びかけ
 - （企業等：「赤ちゃんのほっとステーション」設置企業
「ほっかいどう応援団会議」参加企業 等）

2. こどもまんなか応援サポーター

【概要】

- こどもたちのために何がもっともよいことを常に考え、こどもたちが健やかで幸せに成長できる社会を実現するという「こどもまんなか宣言」の趣旨に賛同し、自らもアクションに取り組んでいただける個人、団体・企業、自治体等を、「こどもまんなか応援サポーター」として推進していく取組。
- 取組内容等についてのSNSでの発信をこども家庭庁が推奨。

【実施状況等】

- 令和5年6月22日 鈴木知事が「こどもまんなか応援サポーター」を宣言
- 道内自治体、企業等に宣言を呼びかけ（呼びかけ先は「こどもファスト・トラック」と同じ。）
- 令和5年12月から、道のホームページ上で各企業等の宣言を紹介するとしたところ、1月25日時点で36社が宣言。

3. 「こどもまんなかアクション」リレーシンポジウム in 北海道

【概要】

- 令和6年1月22日（月）13：00～16：20 札幌エルプラザにて開催
- 主催：北海道・札幌市、共催：こども家庭庁
- こどもや子育て世代を社会全体で支える気運の醸成を図ることを目的として、こども家庭庁が全国の自治体に開催を呼びかけ、全国6箇所目の開催となった。

【実施状況等】

- 「こどもまんなか社会の実現のために～親も子も共育ち」をテーマとして、玉川大学大豆生田教授の基調講演のほか、こどもや子育てに関わる様々な人が、共に育ちあう地域を創出していくための取組について、自治体、障がい児支援施設、認定こども園、父親支援団体が、事例発表や意見交換を実施。
- こども家庭庁が「こども未来戦略」など、今後の施策の方向を説明。
- オンライン参加を含め、約200名が参加。主な所属等は、保育所・認定こども園等関係者、自治体、子育て当事者。
- 「北海道妊婦・子育て世帯優先マーク」の愛称発表と考案者表彰も併せて実施。